

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用等级がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・ ニューマーケット （毎月決算型）

愛称：星こよみ



第190期（決算日：2022年8月24日）
 第191期（決算日：2022年9月26日）
 第192期（決算日：2022年10月24日）
 第193期（決算日：2022年11月24日）
 第194期（決算日：2022年12月26日）
 第195期（決算日：2023年1月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る1月24日に第195期の決算を行いましたので、法令に基づいて第190期～第195期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
166期(2020年8月24日)	3,761		10		1.0	96.8	4,459
167期(2020年9月24日)	3,715		10		△1.0	97.8	4,360
168期(2020年10月26日)	3,756		10		1.4	97.4	4,346
169期(2020年11月24日)	3,859		10		3.0	96.8	4,378
170期(2020年12月24日)	3,879		10		0.8	97.7	4,315
171期(2021年1月25日)	3,883		10		0.4	97.8	4,276
172期(2021年2月24日)	3,832		10		△1.1	98.3	4,166
173期(2021年3月24日)	3,778		10		△1.1	97.1	4,071
174期(2021年4月26日)	3,808		10		1.1	96.8	4,026
175期(2021年5月24日)	3,812		10		0.4	97.1	3,974
176期(2021年6月24日)	3,857		10		1.4	97.4	3,967
177期(2021年7月26日)	3,819		10		△0.7	97.2	3,904
178期(2021年8月24日)	3,770		10		△1.0	97.7	3,808
179期(2021年9月24日)	3,785		10		0.7	97.6	3,767
180期(2021年10月25日)	3,861		10		2.3	97.3	3,782
181期(2021年11月24日)	3,805		10		△1.2	96.7	3,694
182期(2021年12月24日)	3,798		10		0.1	97.0	3,652
183期(2022年1月24日)	3,666		10		△3.2	95.4	3,508
184期(2022年2月24日)	3,586		10		△1.9	97.4	3,413
185期(2022年3月24日)	3,299		10		△7.7	96.7	3,108
186期(2022年4月25日)	3,375		10		2.6	97.4	3,124
187期(2022年5月24日)	3,343		10		△0.7	97.0	3,074
188期(2022年6月24日)	3,477		5		4.2	96.6	3,171
189期(2022年7月25日)	3,505		5		0.9	96.9	3,188
190期(2022年8月24日)	3,516		5		0.5	97.4	3,178
191期(2022年9月26日)	3,576		5		1.8	97.2	3,196
192期(2022年10月24日)	3,562		5		△0.3	97.5	3,168
193期(2022年11月24日)	3,616		5		1.7	97.5	3,192
194期(2022年12月26日)	3,558		5		△1.5	96.6	3,112
195期(2023年1月24日)	3,652		5		2.8	97.0	3,179

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率	
第190期	(期 首) 2022年 7 月25日	円 3,505		% —		% 96.9		% —
	7 月末	3,498		△0.2		97.0		—
	(期 末) 2022年 8 月24日	3,521		0.5		97.4		—
第191期	(期 首) 2022年 8 月24日	3,516		—		97.4		—
	8 月末	3,570		1.5		97.7		—
	(期 末) 2022年 9 月26日	3,581		1.8		97.2		—
第192期	(期 首) 2022年 9 月26日	3,576		—		97.2		—
	9 月末	3,535		△1.1		97.4		—
	(期 末) 2022年10月24日	3,567		△0.3		97.5		—
第193期	(期 首) 2022年10月24日	3,562		—		97.5		—
	10 月末	3,623		1.7		97.5		—
	(期 末) 2022年11月24日	3,621		1.7		97.5		—
第194期	(期 首) 2022年11月24日	3,616		—		97.5		—
	11 月末	3,636		0.6		97.5		—
	(期 末) 2022年12月26日	3,563		△1.5		96.6		—
第195期	(期 首) 2022年12月26日	3,558		—		96.6		—
	12 月末	3,547		△0.3		96.6		—
	(期 末) 2023年 1 月24日	3,657		2.8		97.0		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第190期～第195期：2022年7月26日～2023年1月24日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第190期首	3,505円
第195期末	3,652円
既払分配金	30円
騰落率	5.1%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ5.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、メキシコ、マレーシアなどの保有債券の利回りが低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

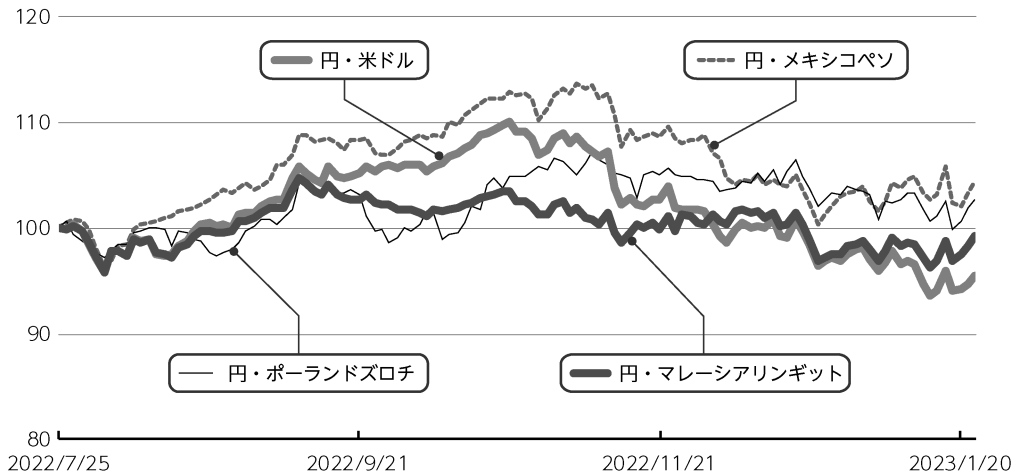
下落要因

米ドルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第190期～第195期：2022年7月26日～2023年1月24日

投資環境について

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 債券市況

長期金利は米国、ポーランドでは上昇した一方、メキシコ、マレーシアでは低下しました。

米連邦準備制度理事会（F R B）や欧州中央銀行（E C B）が当期間を通じて利上げを継続し、当面利上げを継続する姿勢を示したことなどを背景に、米国やポーランドでは長期金利が上昇しました。

メキシコ、マレーシアではインフレが減速トレンドに変換し、中央銀行による利上げペース減速や利上げサイクルの終了可能性が意識されたことなどから、長期金利は低下しました。

▶ 為替市況

メキシコペソ、ポーランドズロチは対円で上昇した一方、米ドル、マレーシアリングットは対円で下落しました。

2022年10月にかけては、世界的に金融引き締めが進む中、本邦との金利差拡大から、投資国通貨が対円で上昇しました。その後は、インフレ鈍化を背景に投資国の金融引き締めペースが鈍化すると観測が高まったことや、12月に日銀が長期金利変動許容幅を拡大したことが日本円の上昇圧力となった結果、メキシコペソ、ポーランドズロチは対円で上昇した一方、米ドル、マレーシアリングットは対円で下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

投資国は、当期間を通じて、米国・メキシコ・ポーランド・マレーシアの4カ国となりました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第190期 2022年7月26日～ 2022年8月24日	第191期 2022年8月25日～ 2022年9月26日	第192期 2022年9月27日～ 2022年10月24日	第193期 2022年10月25日～ 2022年11月24日	第194期 2022年11月25日～ 2022年12月26日	第195期 2022年12月27日～ 2023年1月24日
当期分配金 （対基準価額比率）	5 (0.142%)	5 (0.140%)	5 (0.140%)	5 (0.138%)	5 (0.140%)	5 (0.137%)
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	184	196	203	214	222	232

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得

をめざします。

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。

アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

2022年7月26日～2023年1月24日

1万口当たりの費用明細

項目	第190期～第195期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	22	0.607	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.303)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.032	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.029)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	23	0.639	

作成期中の平均基準価額は、3,590円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

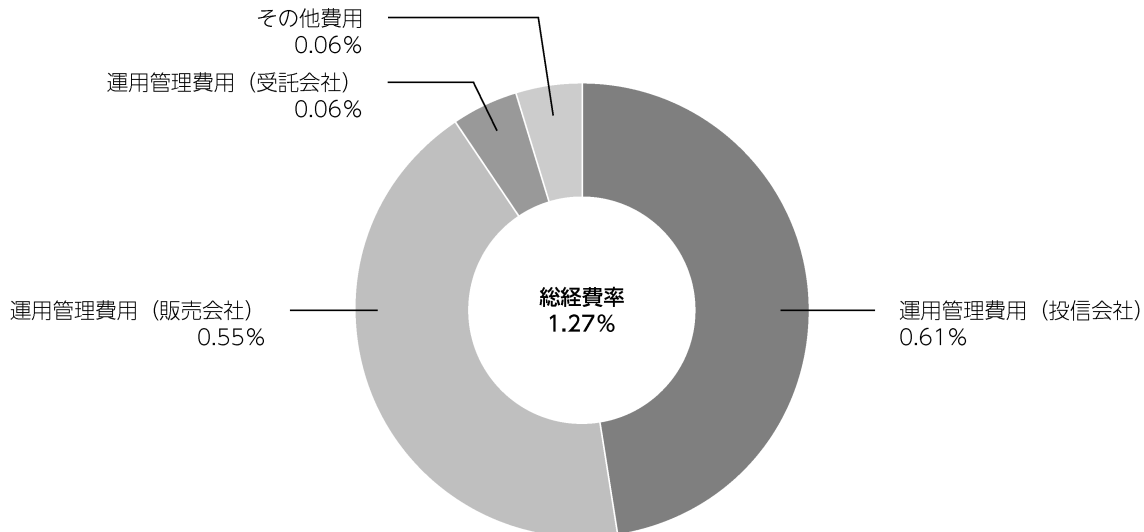
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.27%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月26日～2023年1月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第190期～第195期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 2,685	千円 3,372	千口 150,009	千円 189,008

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月26日～2023年1月24日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区 分	第190期～第195期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 73	百万円 32	% 43.8	百万円 277	百万円 137	% 49.5

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年1月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第189期末		第195期末		
	口 数		口 数		評 価 額
	千口		千口		
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	2,605,717		2,458,392		3,172,556

○投資信託財産の構成

（2023年1月24日現在）

項 目	第195期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	3,172,556	99.5
コール・ローン等、その他	15,432	0.5
投資信託財産総額	3,187,988	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（3,148,952千円）の投資信託財産総額（3,177,590千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=130.42円	1 メキシコペソ=6.9314円	1 ポーランドズロチ=30.1239円	1 マレーシアリングgit=30.4203円
------------------	------------------	---------------------	------------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第190期末	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末
	2022年8月24日現在	2022年9月26日現在	2022年10月24日現在	2022年11月24日現在	2022年12月26日現在	2023年1月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,186,259,022	3,205,298,966	3,176,390,514	3,201,286,282	3,123,642,769	3,187,988,692
コール・ローン等	10,587,781	10,685,260	10,370,693	10,559,721	10,652,047	10,367,106
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	3,170,435,078	3,189,281,097	3,161,105,787	3,184,532,253	3,104,867,134	3,172,556,069
未収入金	5,236,163	5,332,609	4,914,034	6,194,308	8,123,588	5,065,517
(B) 負債	8,021,430	8,396,160	7,733,498	9,106,949	11,454,046	8,052,240
未払収益分配金	4,519,590	4,470,527	4,448,068	4,413,707	4,373,497	4,353,897
未払解約金	310,009	342,810	330,625	1,392,856	3,685,866	673,951
未払信託報酬	3,179,691	3,569,186	2,943,557	3,287,818	3,381,761	3,012,894
未払利息	10	21	20	25	22	5
その他未払費用	12,130	13,616	11,228	12,543	12,900	11,493
(C) 純資産総額(A-B)	3,178,237,592	3,196,902,806	3,168,657,016	3,192,179,333	3,112,188,723	3,179,936,452
元本	9,039,180,523	8,941,054,908	8,896,136,739	8,827,415,109	8,746,995,768	8,707,795,508
次期繰越損益金	△5,860,942,931	△5,744,152,102	△5,727,479,723	△5,635,235,776	△5,634,807,045	△5,527,859,056
(D) 受益権総口数	9,039,180.523口	8,941,054.908口	8,896,136.739口	8,827,415.109口	8,746,995.768口	8,707,795.508口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,516円	3,576円	3,562円	3,616円	3,558円	3,652円

○損益の状況

項 目	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
	2022年7月26日～ 2022年8月24日	2022年8月25日～ 2022年9月26日	2022年9月27日～ 2022年10月24日	2022年10月25日～ 2022年11月24日	2022年11月25日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 83	△ 431	△ 384	△ 565	△ 641	△ 151
受取利息	—	—	2	—	—	19
支払利息	△ 83	△ 431	△ 386	△ 565	△ 641	△ 170
(B) 有価証券売買損益	17,394,500	61,221,394	△ 4,782,956	55,714,282	△ 43,141,975	89,075,070
売買益	17,642,602	62,349,922	208,306	56,081,094	271,869	89,290,662
売買損	△ 248,102	△ 1,128,528	△ 4,991,262	△ 366,812	△ 43,413,844	△ 215,592
(C) 信託報酬等	△ 3,191,821	△ 3,582,802	△ 2,954,785	△ 3,300,361	△ 3,394,661	△ 3,024,387
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	14,202,596	57,638,161	△ 7,738,125	52,413,356	△ 46,537,277	86,050,532
(E) 前期繰越損益	△4,306,726,307	△4,248,969,644	△4,173,276,906	△4,151,741,965	△4,065,000,928	△4,096,084,408
(F) 追加信託差損益	△1,563,899,630	△1,548,350,092	△1,542,016,624	△1,531,493,460	△1,518,895,343	△1,513,471,283
(配当等相当額)	(109,875,558)	(108,702,645)	(108,180,803)	(107,370,224)	(106,420,293)	(105,974,107)
(売買損益相当額)	(△1,673,775,188)	(△1,657,052,737)	(△1,650,197,427)	(△1,638,863,684)	(△1,625,315,636)	(△1,619,445,390)
(G) 計 (D+E+F)	△5,856,423,341	△5,739,681,575	△5,723,031,655	△5,630,822,069	△5,630,433,548	△5,523,505,159
(H) 収益分配金	△ 4,519,590	△ 4,470,527	△ 4,448,068	△ 4,413,707	△ 4,373,497	△ 4,353,897
次期繰越損益 (G+H)	△5,860,942,931	△5,744,152,102	△5,727,479,723	△5,635,235,776	△5,634,807,045	△5,527,859,056
追加信託差損益	△1,563,899,630	△1,548,350,092	△1,542,016,624	△1,531,493,460	△1,518,895,343	△1,513,471,283
(配当等相当額)	(109,876,370)	(108,703,818)	(108,181,690)	(107,371,448)	(106,421,339)	(105,974,783)
(売買損益相当額)	(△1,673,776,000)	(△1,657,053,910)	(△1,650,198,314)	(△1,638,864,908)	(△1,625,316,682)	(△1,619,446,066)
分配準備積立金	57,261,984	67,041,797	72,996,760	81,997,392	88,321,469	96,267,737
繰越損益	△4,354,305,285	△4,262,843,807	△4,258,459,859	△4,185,739,708	△4,204,233,171	△4,110,655,510

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 9,096,450,039円
 作成期中追加設定元本額 18,158,327円
 作成期中一部解約元本額 406,812,858円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3652円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,527,859,056円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2022年7月26日～ 2022年8月24日	2022年8月25日～ 2022年9月26日	2022年9月27日～ 2022年10月24日	2022年10月25日～ 2022年11月24日	2022年11月25日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月24日
費用控除後の配当等収益額	11,317,384円	14,890,965円	10,762,944円	14,002,456円	11,471,670円	12,725,630円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	109,876,370円	108,703,818円	108,181,690円	107,371,448円	106,421,339円	105,974,783円
分配準備積立金額	50,464,190円	56,621,359円	66,681,884円	72,408,643円	81,223,296円	87,896,004円
当ファンドの分配対象収益額	171,657,944円	180,216,142円	185,626,518円	193,782,547円	199,116,305円	206,596,417円
1万口当たり収益分配対象額	189円	201円	208円	219円	227円	237円
1万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	4,519,590円	4,470,527円	4,448,068円	4,413,707円	4,373,497円	4,353,897円

○分配金のお知らせ

	第190期	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期
1万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第16期》決算日2022年7月25日

[計算期間：2021年7月27日～2022年7月25日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月25日に第16期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
12期(2018年7月24日)	12,251		3.1	95.8	—	6,171
13期(2019年7月24日)	12,775		4.3	94.8	—	5,419
14期(2020年7月27日)	11,930	△6.6		98.1	—	4,443
15期(2021年7月26日)	12,748		6.9	97.4	—	3,895
16期(2022年7月25日)	12,208	△4.2		97.1	—	3,181

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)		円		%			%
	2021年	7月26日	12,748		—		97.4	—
	7月末		12,643	△	0.8		97.5	—
	8月末		12,841		0.7		98.0	—
	9月末		12,747	△	0.0		97.3	—
	10月末		13,003		2.0		97.6	—
	11月末		12,685	△	0.5		97.0	—
	12月末		13,035		2.3		97.2	—
	2022年	1月25日	12,556	△	1.5		97.1	—
	2月末		11,126	△	12.7		78.9	—
	3月末		11,517	△	9.7		97.4	—
	4月末		11,518	△	9.6		96.8	—
	5月末		11,783	△	7.6		97.2	—
	6月末		12,178	△	4.5		96.8	—
	(期 末)							
	2022年	7月25日	12,208	△	4.2		97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや、ロシアルーブルを除く投資国通貨が対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

保有期間においてポーランドを除く投資国の金利が上昇したことやロシアルーブルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・長期金利はロシアを除く投資国で上昇しました。
- ・インフレ圧力抑制の為、多くの中央銀行が金融政策の正常化を進めた結果、長期金利はロシアを除く投資国で上昇しました。
- ・ロシアに関しては、ウクライナ侵攻を巡る経済

制裁等の影響により証券売買が制約されたことなどから、主要価格情報会社がロシアルーブル建て国債の価格を算出できない状態が続いています。なお、ロシア国債を保有していた期首から2022年2月末頃にかけては、売買データなどから推定した実勢ベースで見ると、経済制裁による流動性の低下などにより、ロシアの長期金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・ロシアルーブルを除く投資国通貨は対円で上昇しました。
- ・日銀が緩和的な金融政策を維持する中、投資国の利上げ織り込みが進んだことから、ロシアルーブルを除く投資国通貨は対円で上昇しました。
- ・ロシアルーブルに関しては、経済制裁と資本規制によりロシアルーブルから日本円を含む他通貨への換金が制限された状態が続いています。なお、ロシアルーブルを保有していた期首から2022年2月末頃にかけては、売買データなどから推定した実勢ベースで見ると、経済制裁や資本規制の影響などにより、ロシアルーブルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国に関しては、期首は米国・ロシア・マレーシア・タイの4カ国で運用を行っていましたが、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて2022年2月に実施した臨時リバランスにおいて、「ロシア除外、メキシコ採用」、7月の定期リバランスにおいて、「タイ除外、ポーランド採用」の投資国見直しを実施しました。結果、期末の投資国は、米国・メキシコ・ポーランド・マレーシアの4カ国となりました。

○今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月27日～2022年7月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.049	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.049)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	6	0.049	
期中の平均基準価額は、12,318円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月27日～2022年7月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル -	千アメリカドル 620
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 155,726	千メキシコペソ 14,673
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 31,053	千ポーランドズロチ -
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 35,380	千ロシアルーブル 506,039
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit -	千マレーシアリングgit 11,079
	タイ	国債証券	千タイバーツ -	千タイバーツ 323,625

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月27日～2022年7月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	2,097	165	7.9	2,654	489	18.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年7月25日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 2,150	千アメリカドル 2,215	千円 302,737	% 9.5	% —	% 6.6	% 2.9	% —
メキシコ	千メキシコペソ 145,000	千メキシコペソ 132,447	879,846	27.7	—	13.2	14.5	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 38,000	千ポーランドズロチ 32,229	945,991	29.7	—	5.2	24.6	—
マレーシア	千マレーシアリンギット 31,200	千マレーシアリンギット 31,338	961,303	30.2	—	22.1	8.1	—
合 計	—	—	3,089,880	97.1	—	47.1	50.1	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末					償還年月日
	利率	額面金額	評価額		外貨換算金額	
			外貨建金額	千円		
アメリカ	%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
国債証券	1.75 T-NOTE 240731	700	682	93,309	2024/7/31	
	2.25 T-NOTE 270815	600	581	79,464	2027/8/15	
	3 T-BOND 420515	300	289	39,506	2042/5/15	
	4.5 T-BOND 360215	550	662	90,457	2036/2/15	
小計				302,737		
メキシコ		千メキシコペソ	千メキシコペソ			
国債証券	5.5 MEXICAN BONOS 270304	30,000	25,786	171,297	2027/3/4	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	35,000	32,308	214,625	2031/5/29	
	8 MEXICAN BONOS 240905	45,000	43,560	289,369	2024/9/5	
	8 MEXICAN BONOS 471107	35,000	30,792	204,554	2047/11/7	
小計				879,846		
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
国債証券	0 POLAND 240725	13,000	11,417	335,119	2024/7/25	
	1.75 POLAND 320425	8,000	5,602	164,441	2032/4/25	
	3.75 POLAND 270525	17,000	15,209	446,431	2027/5/25	
小計				945,991		
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
国債証券	2.632 MALAYSIAGOV 310415	2,500	2,230	68,434	2031/4/15	
	3.899 MALAYSIAGOV 271116	9,700	9,700	297,560	2027/11/16	
	3.955 MALAYSIAGOV 250915	8,300	8,379	257,028	2025/9/15	
	4.498 MALAYSIAGOV 300415	5,000	5,143	157,782	2030/4/15	
	4.893 MALAYSIAGOV 380608	5,700	5,884	180,498	2038/6/8	
小計				961,303		
合計				3,089,880		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年7月25日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,089,880	97.0
コール・ローン等、その他	97,122	3.0
投資信託財産総額	3,187,002	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (3,174,435千円) の投資信託財産総額 (3,187,002千円) に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=136.63円	1 メキシコペソ=6.643円	1 ポーランドズロチ=29.352円	1 マレーシアリンギット=30.6752円
------------------	-----------------	--------------------	-----------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,187,002,900
コール・ローン等	62,497,306
公社債(評価額)	3,089,880,512
未収利息	31,536,078
前払費用	3,089,004
(B) 負債	5,863,049
未払解約金	5,863,046
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	3,181,139,851
元本	2,605,717,363
次期繰越損益金	575,422,488
(D) 受益権総口数	2,605,717,363口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,208円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,055,569,516円
 期中追加設定元本額 11,339,035円
 期中一部解約元本額 461,191,188円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2208円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 2,605,717,363円

[お 知 せ]

「FTSE世界国債インデックス」について、2021年10月末より中国国債の組み入れに伴い、当該指数を参照等する当ファンドにおいて、新たに中国国債の組み入れを適宜開始します。

○損益の状況 (2021年7月27日～2022年7月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	141,378,954
受取利息	141,380,552
支払利息	△ 1,598
(B) 有価証券売買損益	△297,645,907
売買益	572,116,669
売買損	△869,762,576
(C) 保管費用等	△ 1,690,253
(D) 当期損益金(A+B+C)	△157,957,206
(E) 前期繰越損益金	839,754,566
(F) 追加信託差損益金	2,497,531
(G) 解約差損益金	△108,872,403
(H) 計(D+E+F+G)	575,422,488
次期繰越損益金(H)	575,422,488

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。